

## 青年塾 25 期東クラス&夢甲斐塾合同懇親会 in 清里講座

本日は、合同懇親会 in 清里講座に参加いただきありがとうございます。

この合同懇親会の企画・準備・設営は、青年塾 25 期生の協力を得て、夢甲斐塾が担当させていただきます。お互いが知り合い絆を深める機会にするとともに、清里講座が青年塾の皆様にとってより深い学びの場になることを祈念しております。それでは、時間の過ぎす限り、山梨の食材を楽しみつつ、有意義な時間を過ごしましょう。

※本日の次第及び注意事項等を記載してあります。ご理解ご協力の程、よろしく申し上げます。

令和 5 年 2 月 4 日(土) 夢甲斐塾 塾頭 入倉 要

### 記

#### <次第>

#### 司会進行:夢甲斐塾興水・青年塾林

- 17:30~18:00(30分) 受付・集金・席決め(夢甲斐塾大石・大久保)
- 18:00~18:15(15分) セレモニー(分離礼、開会挨拶:入倉要塾頭、志ネットワークの誓い唱和  
青年塾〇〇、夢甲斐塾二十周年宣言唱和:柴田雅央(7期)  
ゲスト&講師&青年塾OB等紹介。ゲスト代表で那波社長挨拶)
- 18:15~18:33(18分) 活動報告(青年塾25期、夢甲斐塾21期)※プロジェクター
- 18:33~19:13(40分) 乾杯:萌木の村船木上次様&歓談 ※食事の紹介&ドリンクバーの説明
- 19:13~19:50(37分) テーブルディスカッション(TD) テーマ「清里プロモーション(売り込み)」  
①清里の魅力とは? ②誰に(対象者は)? ③何を? ④どんな風に?  
⑤その他、こんなことはどう!というような提案があれば。  
※全体の進行は入倉 要塾頭、テーブル毎には夢甲斐塾生が座長(進行役)
- 19:50~20:15(25分) テーブル毎に発表 @3分×8組 ※テーブルの発表者は青年塾生。
- 20:15~20:30(15分) 発表&合同懇親会に対する総評 荒井塾頭・入倉塾頭・上甲塾長
- 20:30~20:45(15分) 夢甲斐塾ソング合唱&青年塾歌合唱&集合写真&閉会挨拶
- 20:45~21:00(15分) 会場片付け(全員で)
- 21:00~ 青年塾生の萌木の村等への移動は、清泉寮のバス等でお願ひします。

### 志ネットワークの誓い

みんなが幸せになってこそ、自分も幸せになれる。

そんなふうになんが考えることができれば  
どんなにすばらしい社会が生まれることでしょう。

人を犠牲にしたり 踏み台にして

人の不幸を喜び自分だけは幸せでありたいと

みんなが考えたとしたら 社会は必ず行き詰まってしまいます。

「志」とは みんなが幸せになれるようにするには

どうしたら良いかを求め続ける心とも言えます。

私たちは その思いを同じくする人たちとしっかりと手をつなぎ合って  
新しい時代に向けて確かな歩みを始めます。

そして、社会を良くするためには

何よりも最初に良くしなければならぬのは

「自分自身」であることを自覚して

共に励んでいくことを誓い、実践します。

夢甲斐塾ソング  
「志を未来につなげて」

作詞作曲 伊藤あゆみ(10期生)

ひたすらに ただ一途に  
伝え続けて 思い込めて  
あきらめずに やり続けた  
願いはただ 人を育てること

求めれば出会う せめて私ぐらいは  
与えて 与え続けよう さあ一歩前へ

志を強く抱き 強い覚悟胸に抱き  
言い訳せずにやり続けて  
出る杭になれ 打たれないくらいの

人生に無駄なことは一つも無い  
その教え日々を活かして さあ一歩前へ

求めれば出会う せめて私ぐらいは  
与えて、与え続けよう さあ一歩前へ

青年塾歌

# 夢甲斐塾二十周年宣言

令和3年9月12日(日)

21世紀の幕開けの年に設立された夢甲斐塾は、令和3年に20年の節目の時を迎えました。設立から15年目、勇退される上甲晃初代塾長は“薄れつつある日本人の精神を取り戻し、日本が輝いていくためには、改めて歴史・道徳・宗教を学び直すことの必要性を話され、なかでも古事記を学ぶことを推奨されました”この想いを受けて1期生の白倉信司氏が二代目塾長を継承し、16期から夢甲斐塾ではカリキュラムとして古事記を学び、現在に至っています。

夢甲斐塾では、この20周年の節目に「創始の想い」「日本の心」を柱として、塾生個々はもちろんのこと、組織としても進化を遂げるべく、その覚悟の証として夢甲斐塾20周年宣言を策定することとしました。

是に天神諸の命以ちて、伊耶那岐の命・伊耶那美の命、  
二柱の神に、「是のただよへる國を修理固成」  
と詔りたまひて、天の沼矛を賜ひて言依し賜ひき。

古事記より



夢甲斐塾では上記に引用した修理固成を「この常に変化し続ける世界を、あなたの力でより良くしなさい」と訳し、日本人に与えられた共通の天命であると説いています。

## 二十周年宣言

夢甲斐塾は『一燈照隔万燈照国』の精神で、日本の和を尊ぶ優しい心をもって、お互いを尊重する持続可能な世界を目指します。

一、夢甲斐塾は、己の損得を超えて

『一隅を照らす』人を育てることを使命とし、

志を学び育む機会を創出します。

一、夢甲斐塾は、様々な学びや体験を通して、

社会に対して『主人公意識』を持ち、

その課題を見つけ取り組む志高き人を育てます。

一、夢甲斐塾は、

『この常に変化し続ける世界をより良くする志』を将来世代へ継承し、

持続可能で心豊かな社会づくりに貢献します。